

## 2 公立病院の期待される役割について

名 称	御 意 見
岩手県立胆沢病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急性期医療の中心とともに胆江二次医療圏の中核としての役割</li> <li>・胆沢病院は胆江医療圏においては機関病院ですので、今後も急性期病院として、また、救急についても中心的役割を果たして行って貰いたい。</li> <li>・急性期医療、特別外来（専門外来）、救急外来</li> <li>・高度急性期～急性期</li> <li>・基幹病院として、急性期/救急医療の中核を担っていただきたい。その性格を一層強めるためには、むしろ当院を含む周辺医療機関がどこまで「非急性期」をカバーできるかが問題であり、例えば当院も、救急医療の一定部分を担当する立場にあって、全面的に「非急性期」に徹することは叶わない。当院単独で保証することではないが、その分担を協議することこそ「連携」であろう。</li> <li>・超急性期・急性期医療、救急医療の堅持を期待する。</li> <li>・胆沢病院は県南地区の中核病院として充実していた。医師不足、県の方針ということで、中部病院に集中するのは理解できないではないが、以前のように充実に向けてほしい。</li> <li>・がんなどの様々な疾患に対する先進的な医療を担う病院（現在と同様）</li> </ul>
岩手県立江刺病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江刺区唯一の病院のため、存続を望む。</li> <li>・立地場所からも江刺区の中心的病院の役割を果たしている。急性期病院としての役割はもちろんであるが、これから高齢者が増えることから在宅診療、看取りにおいて地区での役割を果たしてほしい。</li> <li>・急性期、地域医療支援、救急外来</li> <li>・地域包括ケアシステムへの参画（地域包括ケア病床、訪問診療、訪問看護ステーションなど）、多職種連携（歯科、薬科、介護、福祉 等）</li> <li>・急性期～終末期、在宅医療（江刺区周辺）</li> <li>・マンパワー不足の現状に鑑みて、診療形態・機能の見直しが必要</li> <li>・急性期～慢性・回復期医療、江刺地区の透析医療の継続を期待する。</li> <li>・現状の維持と充実（地域医療、消化器等）</li> </ul>
奥州市総合水沢病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新市立病院に向けた市の基本計画（地域医療構想）を早く行ってほしい。</li> <li>・現在、新市立病院建設を進めているが、現在の建設方法に異論があり、三師会として参加を辞退していますが、地域医療構想に沿った地域医療計画を立てた上で建設計画を立ててもらいたい。具体的には地域包括ケアの中心的存在として地域医療の課題を払拭できる病院として再出発していただきたい。</li> <li>・救急外来、小児医療（オープンハットを含めた開業医の先生との連携）、周産期医療（オープンハットを含めた開業医の先生との連携）、開業医との連携強化</li> <li>・地域包括ケアシステムへの参画（地域包括ケア病床、訪問診療、訪問看護ステーションなど）、多職種連携（歯科、薬科、介護、福祉 等）</li> <li>・急性期（胆沢病院のカバー部分）～終末期、在宅医療（水沢区周辺）、夜間診療のオープン病院として</li> <li>・急性期～慢性・回復期医療、水沢地区における在宅医療の充実を期待する。</li> <li>・透析医療の継続</li> <li>・現状の維持と充実（小児科、整形外科等）</li> </ul>
奥州市国保まごころ病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療に関しては中核の病院として他の医療機関を引率してほしい。</li> <li>・現在のスタンスを維持して病院、病診連携を進め、在宅訪問診療を含めた地域住民にとって寄り添う病院であってほしい。</li> <li>・地域医療支援</li> <li>・地域包括ケアシステムへの参画（地域包括ケア病床、訪問診療、訪問看護ステーションなど）、多職種連携（歯科、薬科、介護、福祉 等）</li> <li>・急性期～終末期、在宅医療</li> <li>・在宅医療を含む地域密着型医療を評価しつつも、その継続のためには経営的視点を十分に検討すべき時期である。これは水沢病院を含む奥州市医療局のすべてに当てはまる重要な問題である。</li> <li>・回復期、慢性期の受け皿としての医療、現在行っている在宅医療の継続を期待する。</li> <li>・現状の維持と充実（地域医療）</li> </ul>